

日本女子大学 家政学部通信教育課程 児童学科 カリキュラム・ツリー

(2024年6月7日 更新)

通信教育課程児童学科 ディプロマ・ポリシー

児童学の先端的な研究方法や「心理」「教育」「健康」「文化」「社会」の5分野の専門的知識を身につけ、子どもについて多角的に理解することができる。(大学DP 1)

子どもに関する現代的課題や社会的ニーズを把握し、子どもや子どもを取り巻く環境を的確に分析することができる。(大学DP 2 大学DP 3)

家庭や地域における生活者としての子どもの育ちや環境をよりよくなる目標達成のために、多職種の専門職と協働するための基礎力を身につけることができる。(大学DP 3、DP 4)

子どもの最善の利益を考えながら、子どもに関する課題の解決のために主体的に行動することができる。(大学DP 4 大学DP 5)



		4年次							
		卒業論文4、卒業セミナー							
三 年 次	応 用				子どもと絵本 2★		算数 2	(4年次)	
					絵本学概論 2★	児童学特講 2	生活 2		
		児童臨床心理学 2■	子どもとマルチメディア 2★		子どもと造形3 2■	児童学演習 2	社会(2026年度より開講) 2	教職実践演習(幼) 教育実習(幼)	
			保育内容総論 2		児童文学特論 2	児童学研究法 必2	理科(2026年度より開講) 2 家庭(2026年度より開講) 2		
二 年 次	発 展	発達臨床支援 2							(3年次)
		基礎カウンセリング2 1■						学校カウンセリング基礎論1 2	特別支援教育(幼) 2 教育実習事前指導I・II(3年次) 保育内容指導法(表現) 2 保育内容指導法(言葉) 2 保育内容指導法(人間関係) 2 保育内容指導法(健康) 2
		分析的アートセラピー 1■	音楽表現 2	児童虐待の構造と支援 2				子どもと健康・運動 2	
		応用表現アートセラピー 2■	乳幼児教育論 2■	家族心理学 2	子どもと造形2 2			子どもと人間関係 2	
		表現アートセラピー2 2■	子どもと表現 2	母性保健 2	子どもと造形1 2■			子どもと環境 2	
		人格発達論 2■	幼児教育方法論 必2■	小児保健学2 2	幼年文学 2■			子どもと言葉 2	
青年心理学 2	保育・教育課程論 必2	小児栄養学 必2	児童文学 必2■						
一 年 次		基礎カウンセリング1 1■						(2年次)	
		表現アートセラピー1 2■						教育心理学1(3年次) 2	
		表現アートセラピー基礎 2■						保育内容指導法(環境) 2	
		発達心理学2 必2■	身体クリエイティブ表現 1■	児童福祉 必2				教育学概論1 2	
発達心理学1 必2■	音楽療法的アプローチ 1■	小児保健学1 必2	児童文化論 2■				教職基礎論1 2		
		心理	教育	健康・社会	文化	共通	関連科目	幼稚園教諭資格	
基礎科目(外国語・情報処理・身体運動) 教養科目(地球市民を目指して・よき生をもとめて・知と感性を磨く) 学部共通科目									
芸術子ども支援プログラム必修・選択科目は■、認定絵本土指定科目は★、細字は隔年開講科目									

通信教育課程食物学科 DP

<p>DP1：食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門の技術を修得できる。</p>	<p>DP2：学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門の技術を用い、食に関する問題解決に応用することができる。</p>	<p>DP3：食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、他者と協働して様々な問題に取り組む姿勢が身につく。</p>	<p>DP4：生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、プレゼンテーションすることが出来る。</p>	<p>DP5：生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。</p>	<p>DP6：人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、食に関する諸問題に地球環境・SDGsを考えてグローバルな視点から取り組む態度が身につく。</p>
---	--	--	--	---	---

年四 次		卒業セミナー 必2S 卒業論文 4S						
三年 次	応用	食品学実験 選必1S 食品衛生学Ⅱ 2T 食品加工及び貯蔵学Ⅱ 2T■ 食品衛生学Ⅰ 必2T■ 食品加工及び貯蔵学Ⅰ 必2T■	微生物学実験 選必1S	調理科学実験 選必1S■ 調理学実習Ⅱ 必1S■	臨床栄養学実験 選必1S 応用栄養学実習 選必1S 基礎栄養学実習 選必1S 食教育論 2S 臨床栄養学Ⅱ 2T	健康科学と予防医学 2T 解剖生理学 2T	家庭電器・機械及び情報処理 2S	
二年 次	発展	食品・栄養学基礎実験Ⅱ 必1S 食品・栄養学基礎実験Ⅰ 必1S■ 生理学Ⅱ 2T 基礎分析学 選必2T 基礎化学Ⅱ 選必2T 微生物学 必2T・S	食品機能学 必2T・S■ 食品化学 必2T■ 食品学 必2T■	調理学実習Ⅰ 必1S■ 調理科学 必2T■	臨床栄養学Ⅰ 2T 健康と栄養学Ⅱ 必2T■ 健康と栄養学Ⅰ 必2T■ 栄養学Ⅱ 必2T	学校保健Ⅱ 2T 学校保健Ⅰ 2T 運動生理学 2T 家庭看護学 2T 社会環境と健康 必2T 地域食支援論 2S 食物学特講Ⅱ 2S 食品安全論 2S 病理学 2T	衣服実習 1S 調理基礎実習 1S	
一年 次	基礎・導入	生理学Ⅰ 必2T・S 基礎化学Ⅰ 必2T・S	食生活と環境 必2T■	調理学 必2T・S■	生化学Ⅱ 選必2T 栄養学Ⅰ 必2T■ 生化学Ⅰ 必2T	フードコーディネーター論 2T■	調理基礎 1T 家族関係論 2T 家庭管理概論 2T 住居学概論 2T・S 衣生活学概論 2T 食物学概論 2T 児童学概論 2T	
		基礎科学系	食品学系	調理学系	栄養学系	フードスペシャリスト	その他	家庭科教職
基礎科目 (外国語・情報処理・身体運動) 教養科目 学部共通科目								

T: テキスト科目、S: スクーリング科目、数字は単位数

必: 必修科目、選必: 選択必修科目、その他は選択科目、■: フードスペシャリスト必修科目

日本女子大学 家政学部通信教育課程 生活芸術学科 カリキュラム・ツリー (2024.07)

DP 1
衣生活、住生活における科学的・文化的・芸術的な広い側面から生活の質の向上に役立つ、被服学と住居学の基礎ならびに関連諸分野の知識を習得している。
(大学 DP 1)

DP 2
衣生活、住生活における様々な課題に関連した情報やデータを収集し、体系的に分析、整理し、解決策を構築できる。
(大学 DP 2)

DP 3
衣生活、住生活の学びを通して、多様性に関する理解を深め、共感力や協働する力を高める。
(大学 DP 3)

DP 4
地球レベルの視野を持って、衣生活・住生活の質の向上に関心を持ち、社会における自らの役割と責任を自覚できる。
(大学 DP 4)

DP 5
快適な生活や環境の実現に向けて、具体的な方法や工夫を反映でき、提案や成果物を他者にわかりやすく表現し説明し、生涯学習意欲を持つことができる。
(大学 DP 5)

四年次	卒業セミナー 必2S											
	卒業論文 4S											
三年次	応用		色彩学演習 2S						コンピュータデザイン 2T■			
									住居設計Ⅱ 2T■			
二年次	発展	テキスタイル試験法演習2S●										
一年次	基礎											
		衣業材系	衣造形系	服飾・文化系	流通・消費系	住生活系	計画系	設計・デザイン系	構造・生産系	関連科目(家庭教職免許)		
基礎科目(外国語・情報処理・身体運動) ・ 教養科目(地球市民を目指して・よき生を求めて・知と感性を磨く) ・ 学部共通科目(一部2年次以降科目)												

T: テキスト科目、S: スクーリング科目、数字は単位数
 必: 必修科目、選必: 選択必修科目、その他は選択科目、●: 繊維製品品質管理士(TEG)関連科目、■: 二級建築士・木造建築士(選択)必修科目